

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【公開番号】特開 2013-242989 (P2013-242989A)  
 【公開日】平成 25 年 12 月 5 日 (2013.12.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-065  
 【出願番号】特願 2012-114073 (P2012-114073)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 11/01 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 R 11/01 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 23 日 (2015.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の導体と第 2 の導体との間に挟まれるように設定される導電伝熱ガasket において、

該第 1 の導体に面するように設定される第 1 の面と、該第 2 の導体に面するように設定される第 2 の面と、該第 1 の面及び該第 2 の面を繋ぐ第 1 の側面と、該第 1 の側面の反対側の第 2 の側面とを有するクッション本体と、

該第 1 の側面を覆う中央の部分と、該中央の部分の一端から該第 1 の面上に延びて該第 1 の面を該第 1 の側面側から部分的に覆う第 1 の端部部分と、該中央の部分の他端から該第 2 の面上に延びて該第 2 の面を該第 1 の側面側から部分的に覆う第 2 の端部部分とを有し、該クッション本体に貼り付けられるフィルム状の導電体と、

を有し、

該第 1 の面及び該第 2 の面が該フィルム状の導電体によって覆われない部分を有するようにした導電伝熱ガasket。

【請求項 2】

該第 1 の面及び該第 2 の面の少なくとも一方の面における該フィルム状の導電体によって覆われていない部分が粘着性を付与されている、請求項 1 に記載の導電伝熱ガasket

。【請求項 3】

該クッション本体が粘着性のあるものとされており、該第 1 の面及び該第 2 の面における該フィルム状の導電体によって覆われていない部分が粘着性を有するようにされた、請求項 1 又は 2 に記載の導電伝熱ガasket。

【請求項 4】

該少なくとも一方の面上に粘着層が設けられて該粘着性を付与された、請求項 2 に記載の導電伝熱ガasket。

【請求項 5】

該クッション本体が、熱伝導性フィラーを含んだアクリル系ゴム、熱伝導性フィラーを含んだエチレンプロピレン系ゴム、熱伝導性フィラーを含んだウレタン系ゴム、熱伝導性フィラーを含んだシリコン系ゴム、熱伝導性フィラーを含んだ熱可塑性エラストマー、熱伝導性フィラーを含んだ樹脂発泡体、熱伝導性フィラーを含んだアクリル系ゲル、熱伝

導性フィラーを含んだシリコン系ゲル、ソフトフェライト含有樹脂、グラファイト含有ゴムの中から選択された１つの材料により形成されている、請求項１乃至４のいずれか一項に記載の導電伝熱ガスケット。